

コード	504040201
記入日:	H22.6.10

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川義男
担当者	中山利朗

事務事業事後評価表

作成年度	平成 22 年度
------	----------

評価対象事業名称	江袋教会復興支援実行委員会活動費補助金
----------	---------------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 21 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	504	施策名称	伝統、文化の保存・継承と創造	項コード	5
基本事業コード	50404	基本事業名称	文化財の整備と活用	目コード	1
事務事業コード	5040402	事務事業名称	文化財保護の充実	細目コード	435
関連計画	法令・条例規則等				

計画(PLAN) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象:誰、何を対象にしているのか		対象指標:対象の大きさを表す指標				
(対象1)	町民	(対象指標1)	23,718人(H21.4.1現在)			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要:具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標:事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	会議開催数2回。情報誌の発行1回。公共機関に設置していた募金箱を回収し、江袋教会に届けた。	***** 実行委員会数	***** 1件	***** 100%	委員会数(実績)÷ 委員会数(計画)	***** 平成21年度
		①	(達成率分析) 事業計画に基づき、適切に実施された。			
		②	(達成率分析)			
目的:何をしたいのか		成果指標:目的の達成度を表す指標・達成率 (上段:全体、下段:評価年度)				
		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 会議開催数	***** 2回	***** 66%	会議開催数(2回) ÷ 会議開催予定数 (3回)	***** 平成21年度
	江袋教会の復元に向けて、官民協力した支援体制を整えたい。また、情報誌を発行することで、江袋教会の価値を町民にお知らせし、文化財の保存に関する理解・機運を深めたい。	①	(達成率分析) 今年度3回会議を予定していたが、2回の開催しかできなかった。			
		②	(達成率分析) 今年度、情報誌発行を3回予定していたが、1回のみ発行となった。			
		***** 情報誌発行数	***** 1回	***** 33%	情報誌発行数(1 回)÷情報誌発行 予定数(3回)	***** 平成21年度

実施(DO) ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 20 ~ H 21		平成20年度以前	平成21年度	
		計画	実績		実績	計画
活動指標	① 件	1	1	1	1	1
	②					
成果指標	① 回	5	3	1	3	2
	② 回	5	2	1	3	1
総事業費C(A+B)	千円	2,200	1,900	1,200	1,000	700
直接事業費A	千円	800	500	500	300	0
人件費B	千円	1,400	1,400	700	700	700
内訳	従事職員数	人	0.2	0.1	0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円				
	起債	千円				
	その他	千円				
一般財源	千円	2,200	1,900	1,200	1,000	700

コード 504040201

評価(CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 町民共有の財産として、教会の復元を支援するために必要であった。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 火災による焼損という稀な事態に陥った文化財を守り、後世に引き継いでいくためにも、町全体の支援体制を整える必要があった。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由 町指定文化財の支援活動なので、適切である。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由 実行委員会の開催や情報誌の発行をし、目的は達成できた。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 計画通り実施できていれば、もっと復元に対する機運を高めることが出来た。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 江袋教会の価値や修復の現状を知らせることができなかった。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 類似事業はない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 活動内容を精査すれば、事業費を削減できた。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 必要最低限の人数で事務に当たったので、これ以上の削減できなかった。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由 受益者負担はなかった。

改善(ACTION)

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点 特殊な事業であったため、活動の中身をしっかりと構築できなかった。関係各課や関係団体との情報共有や協力体制を整えれば、もっと活発な活動を行うことができた。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策 一定の目的は達成することができたが、関係各課や関係団体との協力体制を整える必要があった。
2次評価	特殊なケースでの立ち上げで町が支援した形であるが、住民の自発的活動の支援のあり方など、今回の改善点を踏まえ、今後に活かすことが肝要である。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。